



きららとしょかん明徳館



No.372 2026年1月発行

# あたらしくはいった 子どもの本

## おしらせ

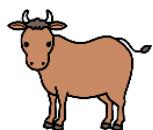
### またまた、楽しい本を寄贈していただきました！

「クアドーム ザ・ブーン」などの施設がある秋田市太平山リゾート公園と、「太平山スキー場 オーパス」を管理・運営する太平山観光開発株式会社から、「シマエナガのちるとびるる」「楽しくポカポカ おふろの入りかたずかん2」など児童書を14冊寄贈していただきました。夏に寄贈していた本も大変好評です。貸出し中で棚に本がない時は予約もできますので、職員におたずねください。



### 今日のテーマ展示

- 『動物』（特集児童4）
  - 「小学生のお仕事たいけん」に参加した小学生のおすすめ本『あったかい』（カウンター展示1）
- ※1階児童コーナーでご覧ください。



## えほん

寄贈：太平山観光開発株式会社



ゆたんぽさんです。  
とよたかずひこ／作  
童心社  
(Eト・アカチャン) ※2歳から

木枯らし吹くさむーい冬。「ぽかぽかいかがですか～。」ゆたんぽさんは、自分で編んだ毛糸のカバーにすっぽり入り、ふるえる動物たちのところを訪れます。ぎゅっと抱きしめて、ぽかぽか、ぽかぽか…みんなの顔がほころんでいきます。



さかなをたべたあとのはね  
加藤休ミ／作  
福音館書店  
(E力) ※3歳から

お店に並んでいる魚を焼いたり煮付けたりしたおいしそうな姿と、きれいに形を残して食べた後の骨が描かれています。魚の種類によって骨の数や形がちがうことがわかります。今日のおかずを魚料理に決めたくなるような、食欲がわいてくる絵本。



ようかいあいうえお  
林木林／作 ささきみお／絵  
木下昌美／監修  
Gakken  
(Eサ) ※4歳から

ようちゃんがおばあちゃんの家に遊びに行くと、家中妖怪だらけ。一緒にお手伝いをしたり、外に出かけて遊んだりして楽しくすごします。「のったんもめんはのそがい」「のんぐとのをつなぐ」など、50音順に出てくる妖怪たちとのふれあいを声に出して読んでみましょう。



冬にやってきた春と夏と秋  
ジョナサン・フリードランド／文  
エミリー・サットン／絵  
さくまゆみこ／訳 德間書店  
(Eサ) ※5歳から

冬の宮殿にすむ冬の王さまは、今年の誕生日にきょうだいたちを呼びよせてパーティを開くことにしました。久しぶりに集まった春の女王、夏の王、秋の女王と一緒に楽しい時間を過ごしていましたが、宮殿の外は大変なことになっていたのです。

秋田市立図書館ホームページURL  
[https://www.city.akita.lg.jp/  
kurashi/shakai-shogai/  
1008469/index.html](https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/shakai-shogai/1008469/index.html)



# 低学年向き



ほらふきのちゃんはうそつき  
加瀬健太郎／作  
横山寛多／絵  
偕成社  
(91才)

ともだちのふきのちゃんがする話はいつもうそばっかり。学校でも公園でも、うそばっかりついています。おばあちゃんの話やうその勉強をするためのじゅく「ウソツキゼミナール」の話など、ふきのちゃんのうそはおもしろくて、みんな楽しみにしているのです。



いたいのいたいのつかまえて  
千葉智江／作  
あかね書房  
(91才)

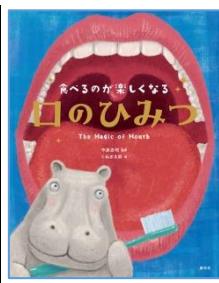
さか上がりの練習をしていてけがをしたまなみちゃん。保健室の先生に「いたいのいたいのとんでいけ！」をしてもらいましたが、まなみちゃんはもうてつぼうをしたくありません。そこへかみなりくんが、大きなふくろに入ったまなみちゃんのイタイノをかえしにやってきて…。

# 中学年向き



おしゃべりねずみ  
ゴル・ゴーン・ゾラ  
小森香折／作  
平澤朋子／絵  
偕成社  
(91才)

人間の言葉をしゃべる子ネズミのきょうだいゴル、ゴーン、ゾラは、「なにがあってもチーズと自分は見失うな」という父の教えを胸に、大冒険をくりひろげます。チーズ店にもぐりこんだゴルが、チーズの神さまになりきって新人店員を助けようとするおはなしなど、短いおはなししが3つ入っています。



食べるのが楽しくなる 口のひみつ  
今泉忠明／監修  
くぬぎ太郎／絵  
創元社  
(49)

ごはんを食べたり、おしゃべりをしたり、楽器を吹くときにも大活躍する口。この本では口がどのように進化してきたのかや、むし歯になるしくみ、動物と人間の口のちがいなど、口に関するあらゆる知識を写真やイラストでわかりやすく解説しています。思わず誰かに話したくなるひみつがいっぱいの1冊です。

# 高学年以上



みんなの居場所  
ひだまり  
白矢三恵／作  
いつか／絵  
文研出版  
(91才)

五年生の玲央はお父さんと二人暮らしで、晩ご飯はいつもスーパーのお弁当。ある日スーパーで出会ったおばあさん、オニばあにすすめられて子ども食堂に通うようになります。祖母の介護をするまひるや、フィリピンから引っ越してきたばかりの陸など、玲央の友達も次第に子ども食堂に興味を持ち始めます。



ジャンボタニシに負けるな！  
新たな米づくりへの挑戦  
谷本雄治／著  
あかね書房  
(61)

ジャンボタニシは、強い繁殖力を持つカタツムリの外来種。田んぼで稻などを食べるため、深刻な被害をもたらしています。千葉県立農業大学校の清水先生は農家の人々に相談され、稻や田んぼで見つかった貴重種トウキョウサンショウウオを守るために、環境保護を考えた捕獲トラップづくりに乗り出しました。